

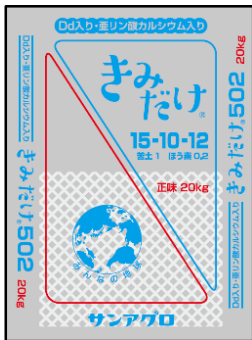


皆さん、こんにちは！

千代田NEWS Vol.44は北海道営業部よりお届け致します。
「千代田化成」と言えば、よく溶けて、効き目が早い肥料ですね！
しかしながら、色んな効果を持った肥料が販売される中で、
「千代田化成の良さに、何かを足してはどうか？」
というお声を頂くことがあります。一方で、
「いや、千代田化成はそのままが良いんだ。何かを足したら、良さも半減するぞ」
というお声も。
確かに、並みの肥料と足しては、効果が薄まるだけですね。
今回の千代田NEWSは、「千代田化成(エース)と配合する肥料も、
他社にはない、特長のある相方だったら良いんじゃないか」をテーマにお伝えします！



今回、「他社にはない、特長のある相方」として紹介するのは、
きみだけ502 です！



きみだけ502は、
Dd入り・亜リン酸カルシウム入り肥料で、
肥料成分は N15-P10-K12
Dd(ジシアンジアミド) チッ素15%のうち約1.5%
亜リン酸カルシウム リン酸10%のうち約2.5%
苦土、ホウ素も入ってます

Dd(ジシアンジアミド)によって、アンモニアNの硝酸化を抑制し緩効性を持たせ、
亜リン酸は、リン酸よりも分子サイズが小さく、効率良く利用されるリン酸ですね。

……ジシアン入り肥料も、亜リン酸入り肥料も、他社でも扱ってますが？

いえいえ、きみだけ502の亜リン酸は、他社とは違うんです。
一般的な亜リン酸入り肥料に使用される亜リン酸は、「亜リン酸カリウム」で、
きみだけ502に使用されている亜リン酸は、「亜リン酸カルシウム」なんです。

何が違うの？



亜リン酸カリウムと亜リン酸カルシウムの比較		
	亜リン酸カリウム	亜リン酸カルシウム
溶解性	水溶性	<溶性
溶脱性	高い	低い
効果	速効的	緩効的



きみだけ502の亜リン酸は「<溶性」なので、
・植物の生育に合わせて亜リン酸が供給されますので、無駄が少ない
・亜リン酸は、過剰障害への配慮が必要ですが、その心配が少ない
という特長があります。



- 配合C (ジシアン・有機・ホルムチツソ・亜リン酸)
- 化成B (亜リン酸入りジシアン化成)
- 化成A (ジシアン入り有機化成)
- きみだけ502 (亜リンCa酸入りジシアン化成)

品種: ファンファーレ
栽培期間: 2020年6月25日~8月6日

長野県にて、レタス向けで4社の肥料を比較試験した事があり、
他社様は亜リン酸カリウムのため、過剰障害に配慮し、約1.0%程度の配合でした。
「きみだけ502は、約2.5%も亜リン酸入れて大丈夫なの…？」
と、試験当初は囁かれたのですが、
結果的にはきみだけ502の生育が一番よく、採用してもらうことができました！

同じ亜リン酸でも、「亜リン酸カルシウム」と「亜リン酸カリウム」で、効果が違うんですね！
これこそ、他社にはない、特長のある相方じゃないでしょうか！？



ここ北海道では、
・千代田エース <良く溶ける、効き目が早い中性の肥料>
・きみだけ502 <亜リン酸カルシウム入りのDd肥料>

をBB配合した **Dd千代田431** という肥料を販売させて頂いています！

タマネギにてご好評を頂いており、
慣行区と比較して反当たり7kgのリン酸減肥をして生育試験をした結果がこちら。
品種: 北もみじ2000

区	施肥量 (kg/10a)	施肥成分量(kg/10a)			
		チッ素	リン酸	カリ	苦土
Dd千代田431	100	14.0	13.0	11.0	0.5
慣行区	100	15.0	20.0	10.0	-

区	規格別個数(個)				
	2L	L大	L	M	S
Dd千代田431	7	38	13	2	0
慣行区	4	40	14	0	2



(余談ですが、Dd千代田431区は、例年生育が劣る区画だったのですが、慣行区以上の結果に！)

千代田化成(エース)のリン酸の効きの良さと、亜リン酸カルシウムのリン酸の特長によって、リン酸の減肥をしても同等以上の収量が得られました。
チッ素の肥効もジシアンの効果で生育中期の葉色に差がつかしました。

編集者より
今号では、配合する相方の特長に着目する内容になりました。
やっぱり「千代田化成の良さ」だけにスポットを当てるのも大切ですね。